|  |
| --- |
| **ドキュメントの書式設定に費やす時間を分単位から秒単位に短縮したガス エンジニアリング企業** |
| **TGE Gas Engineering GmbH 社はガス処理/ガス輸送施設の建設を行う企業です。顧客のプロジェクトのドキュメントでは、コンテンツや書式に対してきわめて厳格な基準が使用されるため、小さなミスであっても致命的となります。そこで同社は S&L Netzwerktechnik GmbH 社の協力の下、既存のコンテンツに適切なテンプレートを自動的に適用できる、Open XML 形式をベースにしたソリューションを構築しました。TGE のエンジニアは、これまで分単位の作業であったドキュメントの作成を、秒単位で完了できるようになり、かつ書式の精度も向上しました。** |

**ビジネス ニーズ**

TGE Gas Engineering GmbH 社は、産業プラント建設と造船を専門とする企業です。これらの分野では、個々のプロジェクト領域できわめて厳格なドキュメント品質が要求されます。ドキュメント内の情報が不適切であった場合にはもちろんのこと、書式が顧客の要求水準を満たしていない場合にも契約違反として多額の違約金を請求される可能性があります。TGE では、エンジニアの作成したドキュメントをレビューし、コンテンツと書式に誤りがないかを確認するためのドキュメント管理部門を設けています。

ドキュメントの品質レビューの結果、不適切な点が 1 つでも見つかった場合はドキュメントをエンジニアに差し戻し、作業のやり直しを命じます。ドキュメントの量は膨大であるため、これは非常に労力とコストのかかる作業です。IT マネージャの Tim Bosinius 氏によると、現在、国内での施設開発プロジェクト 1 件につき作成されるドキュメント ファイルの数は約 30,000 文書にも上ります。各ファイルの改訂版も含めるとその数は 120,000文書を超

えます。Bosinius 氏はドキュメント作成での苦労について次のように述べています。「各プロジェクトで顧客に渡すコンポーネント仕様には、たいてい既存プロジェクトと共通する部分があります。エンジニアは通常、既存プロジェクトからその部分をコピーします。しかし、既存のプロジェクトでは異なる書式が使用されていることがあります。結果として新しいドキュメントでは顧客と契約した書式条件に違反してしまうことになります」。

**ソリューション**

TGE では、OpenOffice.org の Open Document Format (ODF 形式: Open XML 形式と同様の XML ベースの形式)、または Open XML 形式のいずれかを基盤としたソリューションを検討していました。「2005 年に検討を開始した時点では、OpenOffice.org の Open Document Format が普及するかどうか予測することは困難でした。その後まもなく、当社の IT 環境に OpenOffice.org を統合するコストは、Microsoft® のSharePoint®テクノロジが搭載された 2007 Office system を統合するよりもはるかに高くつくことが明らかになりました」(Bosinius 氏)。

**概要**

**企業名:** TGE Gas Engineering GmbH

**Web サイト:** www.tge.net

**企業規模:** 顧客数 250

**国/地域:** ドイツ

**業種:** 製造/加工

**パートナー:** S&L Netzwerktechnik GmbH

**パートナー Web サイト:** [www.sul.de](http://www.sul.de)

**プロファイル**

TGE Gas Engineering GmbH 社は、ドイツのボンに拠点を置く、ガス処理/ガス輸送施設の建設に特化したエンジニアリング会社です。

**ソフトウェアとサービス**

**テクノロジ:** Open XML 形式

Bosinius 氏は当時を振り返り、こう語っています。「2007 Microsoft Office system に新しい Open XML ベースのドキュメント形式が実装されると聞いたとき、TGE のドキュメント ソリューションとしてこれを採用することを決めました」。TGE は、ネットワーク テクノロジを提供する S&L Netzwerktechnik GmbH 社と協力し、既存のドキュメントファイルのコンテンツに対してプロジェクトに応じたテンプレートを適用するソリューションを開発しました。これによって新たに作成するすべてのドキュメントで適切な書式が使用されるようになりました。

「当社の変換ツールでは、既存のドキュメントファイルが適切なテンプレートに基づいて再構築されます。プロジェクト名やドキュメント タイプなどのメタデータは、ドキュメントのプロパティで自動的に管理されます」と Bosinius 氏は説明しています。

Open XML に対応したこの新機能「Document Parts」によって、TGE は新しいソリューションを実現しました。Open XML では、コンテンツの内容を示すタグによってドキュメント内の情報を識別できます。たとえば、プロジェクトのドキュメント内で、ユーザーは特定のコンテンツ要素 (コンポーネントの仕様など) にタグを付け、変換ツールによってその要素が新しいドキュメントに自動的に付加されるように指定できます。「これにより、既存プロジェクトのドキュメント要素を新しいプロジェクトのドキュメントにすばやく移行できます。そのため、エンジニアは書式について思い悩むことなく、コンテンツに集中できるようになります」と Bosinius 氏は述べています。

**メリット**

コンサルティング会社 Capgemini の調査により、TGE の新しいソリューションは効率化、コスト削減を始めとするさまざまな領域にメリットをもたらすことが立証されました。

「不合格になるドキュメント数、つまりドキュメント管理部門からエンジニアに差し戻されるドキュメント数が 1ヶ月あたり15% 減少しました」(Bosinius 氏)。

さらに同氏は、「適切なヘッダーとフッターの付いたドキュメントにレイアウトするために要する平均時間が 8 分から 17 秒へと短縮されました」とも述べています。この時間短縮によって、TGE には多大な節減効果が見込めます。「たとえば、ある造船プロジェクトでは、通常約 1,000 件のドキュメント作成を伴いますが、この場合、約 7,000 分 (116 時間超) の節減効果が生まれます。エンジニアリングコストの平均が 1 時間 80 ユーロ (109 米ドル) なので、節減額は瞬く間に数千ユーロに達します」。

"ドキュメントのレイアウトに要する平均時間を 8 分から 17 秒に短縮できました。エンジニアリングコストの平均は 1 時間 80 ユーロなので、節減額は瞬く間に数千ユーロに達します"

TGE Gas Engineering GmbH 社 IT マネージャ
Tim Bosinius 氏

新しい Open XML 形式のおかげで、「わずか数ヶ月で投資費用が回収できました」と Bosinius 氏は述べています

**Ecma Office Open XML** に関する情報については、**http://www.microsoft.com/japan/interop/openxml** をご覧ください。

※ Microsoft、Windows, Office ロゴ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ その他、記載されている情報等は、マイクロソフトのパートナー各社における製品、サービスおよびソリューションであり、それに付随するロゴは商標または登録商標です。

※ 本リーフレットの内容は 2007 年 11 月現在のものです。

**製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。**

■ インターネット ホームページ　 <http://www.microsoft.com/japan/>

■ マイクロソフト カスタマー インフォメーション センター　0120-41-6755

（9:30 ～ 12:00、 13:00 ～ 19:00 土日祝日、弊社指定休業日を除きます）※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

**■ご購入に関するお問い合わせは、マイクロソフト認定パートナーへ**

■ マイクロソフト認定パートナー　<http://www.microsoft.com/japan/partners>

 

〒 151-8583　東京都渋谷区代々木 2 丁目 2 番地 1 号　小田急サザンタワー